



# 銃砲の保管は嚴重に

3月8日、中央公民館で銃砲の検査が実施されました。

当日検査を受けた銃は207挺で、4挺の未検査がありました。日向警察署で検査を受けました。

最近、散弾銃等による強盗事件や暴力団の抗争事件又は、三角関係の精算などと目的外使用による犯罪等にも利用されることから保管取扱いについては十分留意し、盗難、紛失等のないようにしてください。

警察では、立入検査を実施する予定との事ですので保管には十分留意して下さい。



昭和57年 4月号 第368号

発行/東郷町役場・編集/企画財政課

父母よ神にも似たるこしかたに

思ひ出ありや山ざくら花

牧水

# 漢字電算機を導入

## ＝行政事務の充実を図る＝

### 効率的な運用で サービス向上を

町では、電算機（コンピュータ）を導入し、4月1日から稼働（利用）することになりました。役場の事務機構は、昭和39年に大きな事務改善を行い、窓口事務や文書事務の一元化を計りました。しかし、移り変わる社会情勢の中にあつて、行政事務は多種、多様化し、かつ煩雑化しました。町でも制度の新設、改正等に伴い、その都度対応策を講じ、現在に至つていますが、昨今の行政需要は、更に増大の一途をたどり、事務量もひと昔前に比べ大きく増加し、また、今後共、増加することが十分考えられる状況にあります。



町の向上にあるわけですが、ややもすると、日常の事務処理に追われ、行政でやらなければならない部分がないかと考へられているのではないかと考へることも否定できません。町では、このような事態が生じないよう、また、少しでもそのようなことを解消し、町民の皆さんへのサービス向上と、行政事務の効率化を図りながら、電算機の本格的稼働で生じる余剰人員は、それぞれの能力を正しく生かし、かつ「人ならぬ」の分野に配置し、行政事務の充実を図るために、電算機の導入にふみきました。

### 事務改善と 導入までの経過

導入の主旨は以上のようなことです。導入までの経過をみますと、昭和54年11月に、事務改善委員会を発足させ、現状の事務の分析、検討を行い、あわせて、電算機による事務処理の利点欠点等について、専門機関の指導、意見を受けながら、改善の方向に検討を重ねてきました。

昭和55年度末においては、県内の86%に当る市町村が、電算による事務処理を行なつていますが、一部分を除いて、その大半が、委託による処理であり、これら各市町村の状況も調査し、また、指導をうけながら研究した結果、本町における現在の事務機構から脱却するためには、電算機を導入することが最も有利であることの結論に達し、昨年12月の定例町議会に電算機導入に関する予算を提案し可決されましたので、早速、事務移行の準備に着手したところであります。

### 4月から住民基本台帳と 固定資産税は電算処理

12月から、住民基本台帳の電算機への移行作業が進められ、引続き固定資産税に関する業務の移行作業が行なわれています。このあと、つづいて、町民税ほか、国税全般の賦課事務や、国民年金、国

民健康保険、福祉、教育、衛生、水道、選挙等、各種目により、電算機による処理が可能な業務は全て、57年中に入力を完了する計画です。

最も急いでいる住民基本台帳と固定資産税に関する業務が、4月1日から電算機により処理されることとなりました。

### 窓口での受付と 御協力をお願い

すでに、窓口業務では、印鑑の登録、証明業務が改善され、新しい方法で仕事を進めています。このことは、前にお知らせしたとおりです。

4月1日から住民票の交付等が電算機によって処理されますが、住民の皆さんが行う窓口での受付は、いままでどおりです。

電算処理へ移行するには、今までの仕事の整理など、多くの準備作業が必要です。また、電算機に入力した内容が、全課に利用される多くの利点がある内容を記憶させなければなりません。

町では、細心の注意を払い努力していますが、当初不慣れなこともあり、皆さんに御迷惑をかけることがあるかもしれませんが、御理解をいただき、御協力いただきますようお願いいたします。

### あすをきざぐり人づくり運動

#### 昭和56年度町指定公民館公開

町では昭和五十一年以来、人間性の回復と豊かな住みよい町づくりのために、町民総ぐるみで「明日の東郷町を築く人づくり運動」を進めておりましたが、その推進の一つとして迫野内公民館と八重原公民館を、昭和五十六年度町指定公民館として、その活動を進めてまいりました。この一年間の活動実績を発表し今後の健全なる公民館活動の推進に役だてるため、二月二十八日に迫野内公民館・三月七日に八重原公民館がその実践を盛大に公開しました。

### 迫野内公民館

開会行事のあと 佐藤輝夫館長から 迫野内区の概要につづき、区の今後の課題も含めてこの一年間の事業報告がされました。（以下抜粋）

一、進んで自分からあいさつをし、時間を大切に守りましょう。  
二、花いっぱい運動を進めましょう。  
三、祝祭日に、もれなく国旗をあげましょう。  
四、各団体とも懸命に取り組みか、その成果をあげよう。第一回の区内駅伝大会並びにゲートボール大会が盛大に行われ人づくり運動に大きな成果をあげた。老人クラブ、婦人部、青年部が区の行事に積極的に参加し、その成果は大きい。公民館活動の中に畜産振興会としてたけ生産組合とがあり、活発な活動がなされた。

色々と問題はあつたが、目標に基づき、明るい地域づくり、人づくりに励みたい。」と報告しました。引き続き、組合長代表吉田康徳さん、婦人会長佐藤文子さん、育成会長浜地 力さん、青年会長黒木七郎さん、老人クラブ会長佐藤梅作さん、体育指導員池田健一さんにより活動報告がありました。屋敷のあと、全体討議が行われつづいて県生涯教育講師中村西平先生により「これからの人づくり」についての講演がありました。最後に公民館連合会長都甲鶴男さんの講評があり、盛会のうちに閉会しました。

午前十時から開会行事が始まりました。つづいて、高山博館長より経過の概要報告が行われられました。（以下抜粋）

「昨年六月に指定を受け、七月に周知徹底と協力を求めた。各団体毎に実践目標を設定し、その推進に努めた。八重原区は、戸数五十二戸、人口二百十五名。農家三十六戸、非農家十六戸です。耕作反別は一戸



活動の中で大切な団体です。現在未加入者が数名あり、全員加入まで勧誘したい。公民館を学習の場として、町教育委員会と密接に連携し活動を伸ばしたい。老人クラブの方々の努力によって公園づくりが進められ、五十年にこの公園びらきも区民一同で挙行了した。公共施設清掃と花いっぱい運動、さらに老人と子どもをつなぐまちづくり運動など、会長を中心に大いに活躍中であります。最後に育成会ですが、父兄、子供と一諸に花いっぱい運動をもちあげ、町内の花だんコンクールでは、優勝という実績を上げました。最近青少年の非行がひん発しているだけに、農村の子供の純朴性を花づくりによって情操を培い、強くたくましい子供に導くべく努めたいと思ひます。

「人づくり」の大業は短期間では成果は得られませんが、この貴重な体験を基礎に町教育委員会のご指導を仰ぎ、更に精進する決意です。」と述べ報告を終りました。

つづいて、育成会長稲田 護さん、青年会長寺原洋一さん、婦人会長伊東芳子さん、壮年クラブ会長寺原昭一さん、老人クラブ会長奈須仁吉さんにより活動状況が報告され午前の部が終了しました。午後の部は全体討議につづいて「これからの人づくり」と題して元小学校長の太田平太郎先生（日向市在住）の講演があり、盛会のうちに公開を終了しました。

57.4

### 迫野内公民館

開会行事のあと 佐藤輝夫館長から 迫野内区の概要につづき、区の今後の課題も含めてこの一年間の事業報告がされました。（以下抜粋）

一、進んで自分からあいさつをし、時間を大切に守りましょう。  
二、花いっぱい運動を進めましょう。  
三、祝祭日に、もれなく国旗をあげましょう。  
四、各団体とも懸命に取り組みか、その成果をあげよう。第一回の区内駅伝大会並びにゲートボール大会が盛大に行われ人づくり運動に大きな成果をあげた。老人クラブ、婦人部、青年部が区の行事に積極的に参加し、その成果は大きい。公民館活動の中に畜産振興会としてたけ生産組合とがあり、活発な活動がなされた。

色々と問題はあつたが、目標に基づき、明るい地域づくり、人づくりに励みたい。」と報告しました。引き続き、組合長代表吉田康徳さん、婦人会長佐藤文子さん、育成会長浜地 力さん、青年会長黒木七郎さん、老人クラブ会長佐藤梅作さん、体育指導員池田健一さんにより活動報告がありました。屋敷のあと、全体討議が行われつづいて県生涯教育講師中村西平先生により「これからの人づくり」についての講演がありました。最後に公民館連合会長都甲鶴男さんの講評があり、盛会のうちに閉会しました。

午前十時から開会行事が始まりました。つづいて、高山博館長より経過の概要報告が行われられました。（以下抜粋）

「昨年六月に指定を受け、七月に周知徹底と協力を求めた。各団体毎に実践目標を設定し、その推進に努めた。八重原区は、戸数五十二戸、人口二百十五名。農家三十六戸、非農家十六戸です。耕作反別は一戸



八重原区は、戸数五十二戸、人口二百十五名。農家三十六戸、非農家十六戸です。耕作反別は一戸

活動の中で大切な団体です。現在未加入者が数名あり、全員加入まで勧誘したい。公民館を学習の場として、町教育委員会と密接に連携し活動を伸ばしたい。老人クラブの方々の努力によって公園づくりが進められ、五十年にこの公園びらきも区民一同で挙行了した。公共施設清掃と花いっぱい運動、さらに老人と子どもをつなぐまちづくり運動など、会長を中心に大いに活躍中であります。最後に育成会ですが、父兄、子供と一諸に花いっぱい運動をもちあげ、町内の花だんコンクールでは、優勝という実績を上げました。最近青少年の非行がひん発しているだけに、農村の子供の純朴性を花づくりによって情操を培い、強くたくましい子供に導くべく努めたいと思ひます。

「人づくり」の大業は短期間では成果は得られませんが、この貴重な体験を基礎に町教育委員会のご指導を仰ぎ、更に精進する決意です。」と述べ報告を終りました。つづいて、育成会長稲田 護さん、青年会長寺原洋一さん、婦人会長伊東芳子さん、壮年クラブ会長寺原昭一さん、老人クラブ会長奈須仁吉さんにより活動状況が報告され午前の部が終了しました。午後の部は全体討議につづいて「これからの人づくり」と題して元小学校長の太田平太郎先生（日向市在住）の講演があり、盛会のうちに公開を終了しました。

活動の中で大切な団体です。現在未加入者が数名あり、全員加入まで勧誘したい。公民館を学習の場として、町教育委員会と密接に連携し活動を伸ばしたい。老人クラブの方々の努力によって公園づくりが進められ、五十年にこの公園びらきも区民一同で挙行了した。公共施設清掃と花いっぱい運動、さらに老人と子どもをつなぐまちづくり運動など、会長を中心に大いに活躍中であります。最後に育成会ですが、父兄、子供と一諸に花いっぱい運動をもちあげ、町内の花だんコンクールでは、優勝という実績を上げました。最近青少年の非行がひん発しているだけに、農村の子供の純朴性を花づくりによって情操を培い、強くたくましい子供に導くべく努めたいと思ひます。

# 新一年生のぐい両親に お願いしたいこと八カ条

甲斐 亮典

△東郷小学校長△

一、朝は目がさめたらずと起きるようによいようにしよう。

一年生になったら、毎朝きまつた時間に学校に行くことになります。起床時刻をきめて、サツと起きるようによいようにしてください。

朝のスタートで、ぐずぐずしないことが大切です。

必ず顔を洗い、歯をみがかせてください。気分よく登校の準備をさせましょう。

二、まず、家の人に大きい声であいさつさせましょう。

朝は親子で「おはようございます」とあいさつを交わしましょう。親子の対話の始まりです。

返事とあいさつ、ハキハキした子どもにするための習慣つくりです。道で会う友だちにも、おとなの人にも、明るいあいさつをしましょう。あいさつは、先に言った方が勝ちです。

「明るい東郷町」は、子どものあいさつからです。

三、朝ごはんをよく食べ、うんこ

やおしっこをよく出しましょう。朝ごはんを食べない子は、学校で元気がありません。

朝ごはんを食べると、うんこやおしっこがよく出ます。

学校に出かける前に、出すものは、ちゃんと出しておくようによいようにしてください。

登校途中や、勉強中にトイレに行きたくなって、衣服をよごしてしまう子もいます。

朝の定期便を出すことは、大切な習慣です。

学校で、腹痛や気分が悪くて倒れる子の多くは、定期便の不調である場合が多いのです。

四、子どもの衣服、かばん、くつ学用品には、必ず名前を書いてください。

大せいの子どもが、同じような物を持って学校に集まります。

子どもは、物の置き忘れも多いです。名前が書いてないと、持ち主のさがし方がありません。

名前を入れておくことは、自分のものと、他人のものを区別する

ための必要なことです。

名前の記入は、絶えず気をつけてください。子どもの所持品を確かめることにもなります。

五、家でも学校でも、はきものをきちんとしてそろえるようによいようにしよう。

物のしまつをする大切なしつけの一つと思えます。

はきものをぬぐ時、いつもそろえておくようによいようにしてください。

身のまわりの整理は、このことからです。

急いでいる時でも、はきものそろえて、おちつきましょう。

六、物やお金を大切に扱うようによいようにしよう。

このごろの子どもの傾向に、自分のものと、他人のものの区別がつかないことが目立ちます。友だちが何か持っている、やたらとさわりたいがるのです。貸すとも言わないのに、勝手に持ち出します。買うつもりもないのに、店の品ものをあれこれいじって、ちらかし

てしまうもの、同じく悪い傾向です。さわって見ているうちに、ほしくなって、とってしまふことにもなり兼ねません。

「他人のものには手をふれない」というのは、善悪の区別の第一歩です。

お金のしまつもきちんとしてください。ムダ使いにならぬよう、何を買ったか親も関心を持ってください。

七、かばんの中のもの、毎日たしかめましょう。

子どものかばんの中に、何と何が入っているか、いつも気をつけてください。

時間割をもらってくるようになつたら、前の晩、寝る前に、時間割にあわせて、かばんの中のもの確かめましょう。親も一緒に見てください。

子どもが、自分の所持品に責任を持つようになつたら、毎日声をだして、ここの本を読ませましょう。

朗々と声を出して本を読むのは、気持ちのよいものです。初めのうちは、お母さんも一緒に読んでくださると調子が出ます。

文字を習うようになつたら、ど

んどん読む練習をしましょう。

勉強は、まず読むことからです。声をだして読んでみると、気持ちが本に集中して、おちついてきます。短かい時間でも、勉強に集中することが大切なことです。子どもが読む時、御両親も聞いていて、あとでほめたり、はげましたりしてください。

親子は、共に育つということが大切です。

共に育つとはどういうことか、それは子どもの姿をよく見つめていて、その時、その時に必要なはげましを与えることです。

よく、自分のことは自分でせよと言いますが、自分のことが自分で出来るような、親のほげましがなければ、まちがったしつけになつてしまいます。何でも自分勝手という、まちがった育ち方をしないようによいように、子どもをよく見つめてください。

◇ ◇ ◇

四月八日が入学式です。小学校入学は、子どもの成長の大きな変わり目です。

よい習慣をつけるには、毎日続けるということが大切です。

御両親も家業があつてお忙しいと思いますが、この八カ条、何とかして、百日間努力してください。人の一生三日生きるための、スタートの百日間です。またとない得難い百日間です。

お子さま方の入学を待っています。

## 点描 (7)

田野区のおこい日(家庭の日)

田野区は毎月二十五日を「おこい日」つまり農休日、今推進している家庭の日と定めて、それが実際にどの家も皆この区のみまりをよく守り、その日は一切の仕事、労働をしないことにしています。

現在町内でこれだけ区をあげて定休日を実施しているところは珍らしいことではないでしょうか。

昔ほどの区でも定まった農休日があった。その日は朝草一荷で後は家族揃って、のんびり休養とい



## 寄付

### 東郷町人会 延岡

故黒木伝松氏の遺墨と金一封

延岡市在住の東郷町人会が去る一月十三日延岡市国技館において開催され、町長以下四役が招かれて出席いたしました。

第二回の総会とあつて七十余名の方々が参加され盛會でした。始めに塩月真会長(鶴野内出身)の「堅苦しいことは抜きにして、郷土を同じくする私達が一団に会合しこれからの人生について語り合ひ苦しいことや困った時はお互に助け合い、また嬉しいことは共に喜びあえるような楽しい集いになしたい」との挨拶があり、続いて、木

村誠町長から町の重点施策、予算開発の現状など産業、教育、文化の各般について約三十分わたって報告いたしました。引き続き懇親会に入りましたが、学校を卒業以来始めて逢つた人、親せきというものが判つた人など昔ばなしに花が咲き、旧交を温める姿が深更まで続き、同郷人としてのきずなが一層深まった有意義な総會でした。

なお同会より、故黒木伝松氏の遺墨一幅と、町社会福祉協議会に金一封が寄附されました。



つた塩梅。長ずその着物でも着て隣近所の人達と、近頃のいわゆる世間話し、或は村中での話題事件でもあれば、その話に花が咲くといったものであります。

私は焼酎屋の伯母の家において高等小学校に通学していましたが、農休日が来ると、午前中は田畑の仕事の加勢をせよと言われて働かされたが、腹が立つてたまたまなかつたことを記憶しています。

こんな伯母は村中より評判はよくなかつたのです。村のみまりを破る人は誰でもすかれられないもので

後の社会情勢で全く一変したのです。自由主義、個人主義、核家族夫婦共稼ぎ等の事象が農村にも浸入し、美しい昔の風習も自然破壊の憂目にあわざるを得なくなつたことであります。

かくの如き情勢の中にありながら田野区は昔と同じように農休日を守りつつあることに私は深く敬意を表したいと思います。

一人二人の脱落者も時にはあります。大部分の家庭が仕事を休んで体の休養と心のゆとりを養っているのです。

「家庭の日」の推進をすすめて

いる私も、色々と努力をしています。

文化遺産の族 ⑮

感謝の碑

△利権回復の碑

寺迫農協の東側に「利権回復の碑」が建てられている。

現在寺迫区民の共有山林千四百ヘクタールの所有権回復に尽した人々への感謝の碑である。

幕末の頃、この山林を延岡藩の豪商小田文兵衛に百五十両で永代に売却した。その後小田文兵衛が完済証文不履行から論争となり、ついに裁判となつた。この時区民を指導したのが大庄屋の寺原十三郎氏である。十三郎



すが、農村の現状では仲々困難な状況にあります。凡てのことにきまりのよい田野区では何のさわりも無く実行なれているのです。

一例をあげれば、公民館長を初め役員諸氏の発案でしようか、田野の川に生い茂つている「よし」を切り払うことを毎年続けていること、これが田畑の水害防止に役立っていることとであります。

またここに見事な公民館活動であります。又農休日の晩は組合長宅に皆が集まり、毎月の税金、年金区費、水道料電気料等を持ち寄つてその組合の収納が一切終了するのです。この収納のやり方は誠に

いい方法だと思ひます。他の区でも実施しているところもあると思ひますが、おほよその所では組合長が一軒一軒を廻つて集金していると思ひます。本命は私達一人一人が組合長に納入することが正しいことだと思ひます。

田野のこの方式は農休日を含めた年より続けているのです。凡てのことに区民が一致して区のみまを守ること事は、誠に羨ましい限りではありませんか。

東郷町社会教育委員 都 甲 鶴 男

みんなで育てよう

ふるさと愛の基金

目標額 10億円

健康で生きがいのある暮らしと  
思いやりのある福祉社会をみんな  
で実現することが、私たちの心か  
らの願いです。  
今日の福祉問題は、公的な施策  
だけで達成できるものではなく、  
地域の人々が自発的に助け合い、  
思いやりをもって、福祉活動に積  
極的に参加することが必要な時代  
となってきました。  
このような社会の流れをふまえ

て、善意の輪を大きく広げ、民間  
社会福祉活動の振興と社会福祉施  
設の充実を目的として宮崎県社会  
福祉基金が設立され、県民総参加  
による「ふるさと愛の基金」10億  
円達成運動が展開されることにな  
りました。

みなさん一人ひとりに社会福祉  
への参加をお願いするものです。  
募金活動にご協力ください。

募金の使いみち

集められた基金から生まれる利  
息は主に次のように使われます。  
▽心身に障害を持つ人々のために  
事業の助成がなされます。  
▽ボランティア活動をより活発に  
するための事業を援助します。  
▽老人や児童のための施設や遊園  
などの環境整備を行います。  
▽住みやすい地域づくりのための  
社会福祉協議会の活動に助成し  
ます。  
▽福祉に対する理解を深めるため  
の福祉情報紙を発行します。  
▽その他、社会福祉のために使わ  
れます。

国民年金の保険料をお忘れなく  
納めましょう!!

3月分までの保険料をあなたは未納はありませんか、  
5月1日以降は役場では納付できません。保険料を納め  
忘れてしまうと万一の事故のとき障害年金や母子年金な  
ども受けられないばかりでなく将来老令年金が受けられ  
ないこともありますので老後生活の支が失われます。  
いま一度お確かめ下さい。

4月からの保険料は前納できます!!

国民年金の保険料は4月分から翌年3月までを一括し  
て前納できます。こうすると毎月納める手数はふけ又  
分納なら4月以降月5,220円の年62,640円ですが前納す  
ると61,130円となり、1,510円の割り引があります。手  
続きは簡単ですから年金係へ申出て下さい。毎年5名位  
の前納がいます。

勤めをやめたら国民年金へ!!

会社を退職した60才前の人はその翌日から国民年金へ  
加入しなければなりません。もし配偶者も国民年金へ加  
入していなければ一諸に手続をして下さい。こうすると  
今まで加入していた年金と国民年金の加入期間がなが  
り多い老令年金が受けられます。もし手続をしないと年  
金を受ける資格期間を満していない人の場合にはかけた保  
険料がかけ捨てになって一生後悔することになります。

牧水先生の生涯

37

牧水先生の告別式は九月十九  
日行われ、遺体は火葬に付せら  
れ、百か日の法要の後、河津の  
乗運寺の墓地に納骨されました  
法名「古松院仙峯牧水居士」  
告別式の際の北原白秋の弔詞  
「謹んで若山牧水君の御霊前  
にぬかづきます」

若山君、私たちは君がこう突  
然に逝去されようとは全く思ひ  
かけなかったのです。私たちは  
君を失ってひどく驚駭すると  
同時に君のため歌のため歌壇の  
ために痛惜の情禁し得ません。  
君の一生は専ら短歌の一道に  
かかっていられた。君は恬淡に  
して真卒辺幅をかざらず常に飄  
々として歌に執し旅に思ひまた  
ひたすら酒に楽しんでいられた  
自然を愛しその寂寥を寂寥と  
する心は君の本質であられた。  
君のかぎりなき光芸はこより  
発せられたすえなく映照す  
ること信じます。おそらく君  
を敬慕する後進の君の遺風を奉  
ずること更に切なるものがあら  
れることと思はれます。君を憶  
ふと朗々たる君の吟声はいまな  
ほ私たちの心に新なるをおほ  
えます。私たちは君をふかく哀  
傷し心からの私たちの弔詞をさ  
さげたいと思ひます」

牧水先生は辞世の歌はありま  
せんが、歌のノートに七月二十  
九日の作「芦の葉の茂みがうへ  
に登りてこれの小かにはもの  
たてをり」これが最後の歌で  
あるといわれますが、先生が後  
書齋の机上にあった「創作」の  
裏表紙に赤インキで「酒ほしい  
まがらはすと庭に出でつ庭草  
をぬくこの庭草を」が書かれてあ  
ったので、或はこの歌が最後の  
作ではないともいわれます。  
坪谷にも分骨して持ち帰りま  
したが老母がまだ生存中で「自  
分が逝く時に一緒に連れて行く  
とのことですので、そのままお  
寺に預けたのですが、翌年老  
母が死去しましたので、母の胸  
に抱かせて葬りました。  
牧水先生は今も坪谷石原の墓  
地に母の胸に抱かれて静かな眠  
りをつづけています。

先生の著書は歌集一五、その  
他の著書一六、歌神全国七〇余  
(内県内二〇)建てられています  
これらで牧水先生の生涯を終り  
ます

塩月 儀市  
(次号からは牧水と坪谷を連載  
します。)

青年祭 はばたけ青年  
郷土に若い力を 第9回

2月21日、「はばたけ青年」を  
スローガンに青年祭が行われまし  
た。

この青年祭は「郷土に住む若者  
が相集い、日頃の青年団活動の成  
果を広く紹介するとともに、地域  
における青年活動の問題と、これ  
からのあり方を深く追求し、郷土  
の発展に寄与する」ことを目的と  
して実施されているものです。  
当日は午前9時30分から開会行  
事が行われたあと8名の方の意見  
発表と追野内の黒木新吾さんの国  
内研修生の報告がありました。  
引続き、演芸大会が催され、楽  
しいひとときでした。

当日、各部門ごとに受賞された  
方々は次のとおりです。

▽意見発表の部  
最優秀賞 黒木 和彦(寺迫)

優秀賞 岡田いの代(福瀬)

清水 邦彦(羽坂)

▽演芸の部  
最優秀賞 仲深青協

優秀賞 小野田青協  
(劇)仲間  
(青少年の非行)

優秀賞 羽坂青協(お玉ちや  
んパートⅡ)  
▽工作の部(ハドラム缶を利用した  
ゴミ入れのできばえを競う)  
最優秀賞 越表青協  
優秀賞 羽坂  
寺迫  
以上でした。

最優秀賞(意見発表の部)

青年としての自覚

寺迫 黒木 和彦



僕は青年団に入って二年になり  
ますが、いろんなことがありまし  
た。高校を卒業して、農業をする  
ことになった訳ですが、仕事もあ  
まり身に入らず一日がなんとなん  
過ぎてゆくといった毎日でした。  
そんな時です。青年団の人から  
「バレーの練習をしているから出  
てこい」ときられました。以前  
前より得意ではなかったが、内  
心気の進まないまま、練習に行っ  
たしだいです。

その時まず目についたのは、若  
くて一生懸命な姿でした。一つの  
ボールを追って全員が動き回り、  
汗だらけの顔の中に見える目は、  
誰もが輝いていました。「自然は  
一生懸命生きていくから美しい」  
といふことを聞いたことがありま  
すが、まさに僕の目には先輩た  
ちがこのように映ったのです。  
それと同時に今の僕はなんとつ  
まらないんだらうと、みじめさの  
あまり穴があつたら入りたいほど

でした。  
この時からです。この人たちに  
ついて行けば間違いない。自分  
自身何かを見つけたような気が  
しました。今考えてみますと、こ  
れが僕の青年団への仲間入りだ  
つたのです。  
それからは、自分にできる限り  
のことは、一生懸命やってやろう  
と思いました。  
現在では、バレー、ソフト、野  
球、町のSAP会長、青年の執行  
部、それに陸走会と夜は自由な時  
間はあまりありませんが、二年前  
の自分と比べて今は、ああ生きて  
るんだなあと思えるようになりま  
した。  
陸走会をつくってからまだ三、  
四月しかたちませんが、この陸上  
部をつくったのは、去年この場  
で上映された「典子は今」という  
映画を見てからです。今まで自分  
はこれだけやってるのだからと思  
っていたのですが、典子さんの人  
生を目のあたりにして、それが思  
い上がりに過ぎなかったのに気づ  
きました。

僕たちが二倍の努力をした時、  
典子さんにとって四倍の苦しみに  
相当する訳です。典子さんの条件  
と比べてだけでも、もっとやらん  
といかんぞと自分自身に言いしか  
せたのです。そこで一番苦手とし  
ているマラソンをやってみよう  
と考えましたその結果として出来た  
のが陸走会でした。寺迫陸走会と  
名をつけみんなの協力でまた一つ  
みんなが集まって語り合える場を  
つくることができました。  
スポーツ事はばかりやっているよ  
うですが、実はこれを通じて、青  
年が一番大切な団結力、地域間の  
ままとまり、人と人とのふれあい助  
け合う心、今まで自分のことしか  
考えなかった僕でさえいらいらか人  
のことを考えるようになりました  
二年間のうちにいろいろのことを学  
んだような気がします。それにマ  
ラソンなど、毎日苦しい練習をす  
るのですが、試合に出で花ひらく  
時間というのは二十分ぐらいのわ  
ずかな時間です。しかし苦しい時  
間が多いからこそ、価値があるよ  
うな気がします。そして何か一つ  
でもい、一生貫くことができた  
なら、すばらしいことだと思いま  
す。  
青年団活動、またスポーツとい  
うのはやっただけの事は、必ず自  
分に跳ね返ってきいてくれます。  
決してごまかしのない世界だとつ  
くづく感じさせられました。  
青春時代というのは、ある年齢  
の様相を言うのではなく、自信と  
自覚を持つて生きる人は若く、恐  
怖と不安の中で生きる者は年ゆき  
希望ある限り青春時代を謳歌すべ  
きだと思えます。  
僕は今年成人を迎えたばかりで  
す、これから先も先輩方から教わ  
ったことを糧にして、もっともっ  
と多くの物事にぶち当たり、自然に  
負けないよう生きて行こうと思  
います。

**4月の休日在宅医**  
(日向・門川地区)

当番医が変更する場合もあります。テレフオンサービス (☎09825③1214) で確認を!

日	診療科目	病(医)院名	住所	電話
4	内科・外科	浦上医院	曾根	②2939
	耳鼻・咽喉科	山口医院	上町	②2203
	内・精神科	鮫島病院	権現原	④4043
11	外・産婦人科	寺尾医院	門川町	③1447
	内・小児科	佐藤医院	本町	②3324
	小児科	児玉医院	原町	②2530
18	外・脳神経外科	甲斐外科	山下	③5000
	内・外・放科	和田病院	中原	②2045
	産婦人科	滝井医院	都町	②2409
25	内科	大平医院	北町	②3337
	内・外・皮・泌・婦	三股病院	美々津	⑧0034
	内科	今給黎医院	切島山	④2459
29	内・小児科	東医院	門川町	③2800
	外科・内科	樋口医院	門川町	③1036
	眠科	稲原医院	南町	②2209
	内・小・放科	吉田医院	財光寺	④4401



ようーあるもんじゃ  
(粗大ゴミ)



鶴野内の「パット会」(林朝夫会長・会員11名)が3月7日鶴野内区内の粗大ゴミ(不用な農機具・電器製品・トタン等)の一掃をしました。

パット会では、粗大ゴミ収集日を区民に周知させるために、チラシを印刷し、全家庭に配付しました。

当日は、午後から会員によって収集が始められましたがダンプにして十数台分が捨てられました。

きれいな生活環境づくりのために大変役立ち区民からよろこばれています。

水田利用再編対策

57年目標面積 八〇・七ha

水田利用再編対策は、昭和五十三年度より十年間の対策として実施され、第一期対策(53年~55年)を終り、昭和五十六年より五十八年の三カ年を第二期対策として実施され、第二期対策も第一年就了しましたが、皆さんのご協力により目標面積を達成することができました。

水田利用再編配分面積

	昭和56年度(実績)		57年度(目標)
	配分面積	達成率	配分面積
寺 迫	1,170 a	92.4 %	1,127 a
福 瀬	644	117.2	637
小 野 田	281	114.4	282
鶴 野 内	466	112.2	491
迫 野 内	827	107.4	851
八 重 原	219	83.7	223
田 野	743	107.4	680
羽 坂	841	90.0	585
仲 深	979	106.3	1,034
坪 谷	1,307	112.3	1,285
越 表	456	87.1	474
下 渡 川	127	138.0	130
(合 計)	8,070	105.7	8,070

本町を中心に冷害・水害等による減収を考慮し、五十六年目標面積同様の八〇・七haで、六・六ha下まわって配分されました。

各組別配分面積は別表のとおりですが、組合によっては、多少増加しております。

非常に困難な問題と考えますが、基本的には組合員の皆さんの話し合いにより、目標達成できるようにご協力をお願いいたします。

地域ぐるみの話し合いによって計画された転作計画書を組合長さんから提出していただきますが、次のような条件を整えば、計画加算金がもたらえます。

▽地区の目標面積が達成できていること。

▽実施面積のおおむね二分の一以上の実施水田が1ha以上又は2ha以内の地縁的なまとまりに団地化されていること。

以上が計画加算金のもらえる最低の条件ですが、保全管理については、面積には入れませんが加算金ももらえません。

計画加算について

奨励補助金の額(予想)

種 類	作 物 名	額 金
転作奨励補助金	特 定 作 物	大豆、麦、そば、飼料作物 43,000 円
	永 年 性 作 物	果樹(植栽後5年以内) その他木本性作物、桑(53年までの植栽で3年未満) 43,000
	一 般 作 物	上記以外の作物(野菜は除く) 林地、養魚地、農業用生産施設(3年未満) 28,000
	野 菜	23,000
	保 全 管 理	3年未満 28,000 4年以降 23,000

管理転作は56年から58年までに延長されたが3年経過した水田は、上記金額より5,000円減額されます。

【くわしいことは農林課へ】

駐在所たより

春の全国交通安全運動

4月6日~15日まで

交通事故の死者は、四十六年からだんだん減り、ピーク時の半分になったのですが、交通事故発生件数と負傷者は近年増える傾向にあり、死者数は年間六十万人を越えているのです。ただ死者数だけで見ると減ったようにありますが、決して事故が少なくなつたとは言えません。

- ▽安全運転の確保、特に無謀運転の防止三項目です。
- ▽自動車・原付車の安全利用の促進。
- ▽歩行者、特に子供の事故防止。
- ▽自転車・原付車の安全利用の促進。

行楽シーズンの

交通事故防止

うららかな陽気に誘われて、居眠、脇見、スピードの出し過ぎをしたり、夜ふかしによる過労運転などによる事故が多くなる季節です。これらの事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

春山の遭難事故を

防ぐ

気候もよくなり、山菜がたくさん芽ぶく時、人は開放された気分です、気軽に山に登る春山が、一番事故が多いのです。厳しい時ならそれに見合った装備もしますが、ほかほかか天気は浮かれています、春山の天候は急変し、極端な冬山にもどることがあります。気象情報に十分注意しましょう。

# おしらせ



## 衛生だより

● 母子相談  
 日時 4月23日 (金)  
 (受付9時から10時まで)  
 場所 老人福祉館  
 母子手帳を忘れないように!

## 固定資産課税台帳の縦覧について

昭和五十七年度固定資産課税台帳の縦覧期間は、評価替並に地方税法の一部改正に伴ない四月一日から四月二十日までとなりましたのでお知らせします。  
 毎年行なっていますが、自分の固定資産税がどうなっているかを確認される方は少ないようです。是非とも縦覧され、確認してください。

## ◎ 御寄付御礼

昭和五十七年二月十七日から三月十三日までの間に香典返しとしてつぎのかたから社会福祉のため御寄付をいただきました。  
 亡くなられた方の御冥福を謹んでお祈り申し上げますとともにここに厚くお礼申し上げます。

- ▽ 福潮の塩月マサエさんから (シンさん) 八十三才ご死去
- ▽ 坪谷の弓場島治さんから (ハヤさん) 八十七才ご死去
- ▽ 追野内の吉田康子さんから (拓さん) 四十一才ご死去
- ▽ 追野内の藤栄猛さんから (セイさん) 八十四才ご死去
- ▽ 坪谷の矢野 直さんから (明子さん) 六十二才ご死去
- ▽ 坪谷の鈴木孝禪さんから (山本源宗さん) 七十八才ご死去

## ◎ 心配ごと相談所案内

毎週火曜日は心配ごと相談日として左記日程により開催いたします。

## 戸籍だより

### 2月届分

#### 出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
田代 舞	優	寺迫
日吉 幸代	勝	羽坂
鶴田 大介	太美	追野内
三原 寛清	臣	鶴野内

#### 結婚おめでとう

氏名	住所
白 池川 桂昌	鶴野内
菊 子司	鶴野内

#### ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
山本源宗	78	坪谷
塩月シン	83	福瀬
吉田拓	41	追野内
藤榮セイ	84	追野内
河野常吉	89	鶴野内

## 行政相談

毎月第三火曜日を定例行政相談日として国県町等の行政全般に亘って苦情要望意見などがある場合相談に応じております。  
 お気がるに相談下さい

東郷町行政相談委員

山口 俊一

## 矢野善助さんから図書寄贈

九州建設機械販売株式会社社長矢野善助氏(本町坪谷出身)から次の図書のご寄贈がありました。厚くお礼を申し上げますとともに中央公民館図書室に備付けていますので町民の皆様の御利用を願います。

コンゴ河、峠の群像(上・下) イデオロギーと現実・自立するアフリカ、四人の連合艦隊司令長官 沖繩戦記鉄の暴風、沈黙、考えるヒント(1・2)、吉田茂、重臣たちの昭和史(上・下)、臣人岩崎弥太郎(上・下)、将軍の十字架、ソ連を敵にして生き残れますか、今ソ連は何を狙っているか、日本人はなぜソ連が嫌い、ローマの歴史、資源戦略、フリーメーソンとは何か、妻のころ、大人のしつけ・紳士のやせがまん、ノーマンクラウラー、連合艦隊の最後付連合艦隊の栄光、西側報道支配への挑戦、四季の葦草、知的ビジネスマンのための500語、おもと

培養必携、これが沖繩戦だ、イスラムの核爆弾、外相小村寿太郎・ポーツマスの旗、提督伊藤整一の生涯、歴史を訪ねて・筑紫路大宰府、秩父の民話と伝説、博多歴史散歩・二十年のあゆみ、大宰府歴史散歩・筑紫の都いまむかし、幕末維新・最後の藩主二八五人、上村松園、(1) 鶴木清方(2)、北野恒富・中村大三郎(3)、寺島紫明(4)、伊東深水(5)、中村貞以(6)、梶原緋佐子・広田多津・北沢映月(7)、竹久夢二(8)、名作選(1・2・3・4)(9・12)、ボストン美術館秘蔵近世日本屏風名作展

## まちなうごき

人口 6,543人 (6)  
 男 3,170人 (6)  
 女 3,373人 (0)  
 世帯数 1,771戸 (1)

57年3月1日現在  
 ( )は対前月比